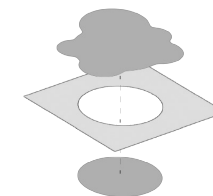


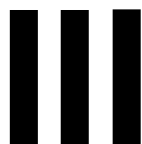
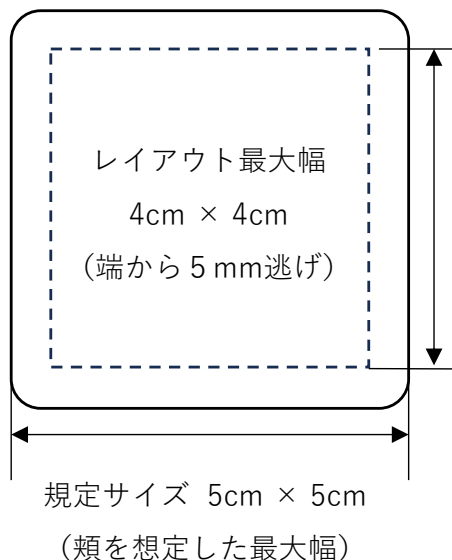
オリジナルステンシル制作（設計ガイドライン）

フリーペイントの所要時間を短縮し、稼働率を向上させることができます。



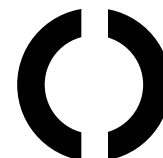
イベント用ステンシルとしての設計条件（重要）

まずはご相談ください。



文字や線の幅・間隔は最低3mm

パーツの幅や間隔が狭すぎると、はがす際の効率が悪くなり、破けやすくなります。



ブリッジ処理

独立したパーツは特性上不可です。使用時の裂けリスクを抑えるため、一時的にブリッジを設け、あとでペイント補正します。

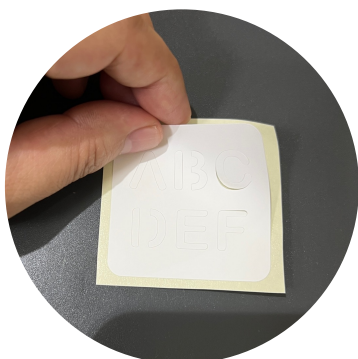


すべての角に角丸（R）処理

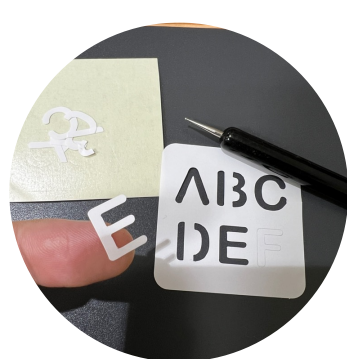
使用時の裂けリスクを抑えるため、独自の処理を施します。

ペイント現場での使用方法イメージ

パーツの数や仕上げ方によって、所要時間が異なります。



①台紙から剥がします。



②カストリ作業



③指でペイント



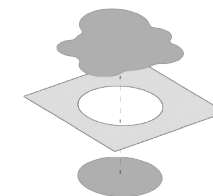
④ステンシルペイント完了



⑤補正

オリジナルステンシル制作事例

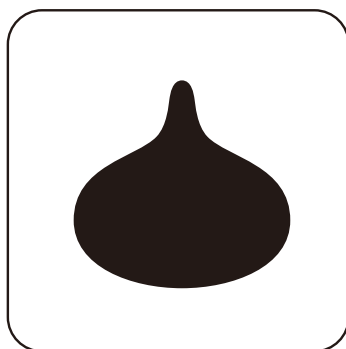
ペイント効率をあげるステンシルを制作。



アルバルク東京



スライム（ドラゴンクエスト）



N800系（京成電鉄）



ペイント時間
約5分

仕上りの品質の最低基準ライン

